

四半期報告書

(第90期第1四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

北陸電力株式会社

富山市牛島町15番1号

E04503

目次

ページ

表紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	3
1 事業等のリスク	3
2 経営上の重要な契約等	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
第3 提出会社の状況	7
1 株式等の状況	7
(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	7
(4) ライツプランの内容	7
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(6) 大株主の状況	7
(7) 議決権の状況	8
2 役員の状況	8
第4 経理の状況	9
1 四半期連結財務諸表	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	12
四半期連結損益計算書	12
四半期連結包括利益計算書	13
2 その他	17
第二部 提出会社の保証会社等の情報	18

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年7月30日
【四半期会計期間】	第90期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	北陸電力株式会社
【英訳名】	Hokuriku Electric Power Company
【代表者の役職氏名】	取締役社長 久和 進
【本店の所在の場所】	富山市牛島町15番1号
【電話番号】	076（441）2511（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部連結・制度会計チーム統括（課長） 横谷 正樹
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビル内
【電話番号】	03（3502）0471（代表）
【事務連絡者氏名】	東京支社調査チーム統括（課長） 斉藤 勝宏
【縦覧に供する場所】	北陸電力株式会社 石川支店 （金沢市下本多町六番丁11番地） 北陸電力株式会社 福井支店 （福井市日之出一丁目4番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第89期 第1四半期 連結累計期間	第90期 第1四半期 連結累計期間	第89期
会計期間		自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（営業収益）	百万円	116,711	115,374	492,487
経常利益	〃	14,471	1,458	1,713
四半期（当期）純利益	〃	8,888	492	98
四半期包括利益又は包括利益	〃	8,074	649	1,994
純資産額	〃	342,355	326,475	331,049
総資産額	〃	1,372,623	1,418,229	1,395,976
1株当たり四半期（当期）純利益金額	円	42.56	2.36	0.47
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額	〃	—	—	—
自己資本比率	%	24.9	23.0	23.7

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2. 売上高には、消費税等は含まれていない。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していない。

2【事業の内容】

当社グループは、当社及び関係会社24社（子会社15社、関連会社9社）で構成されている。

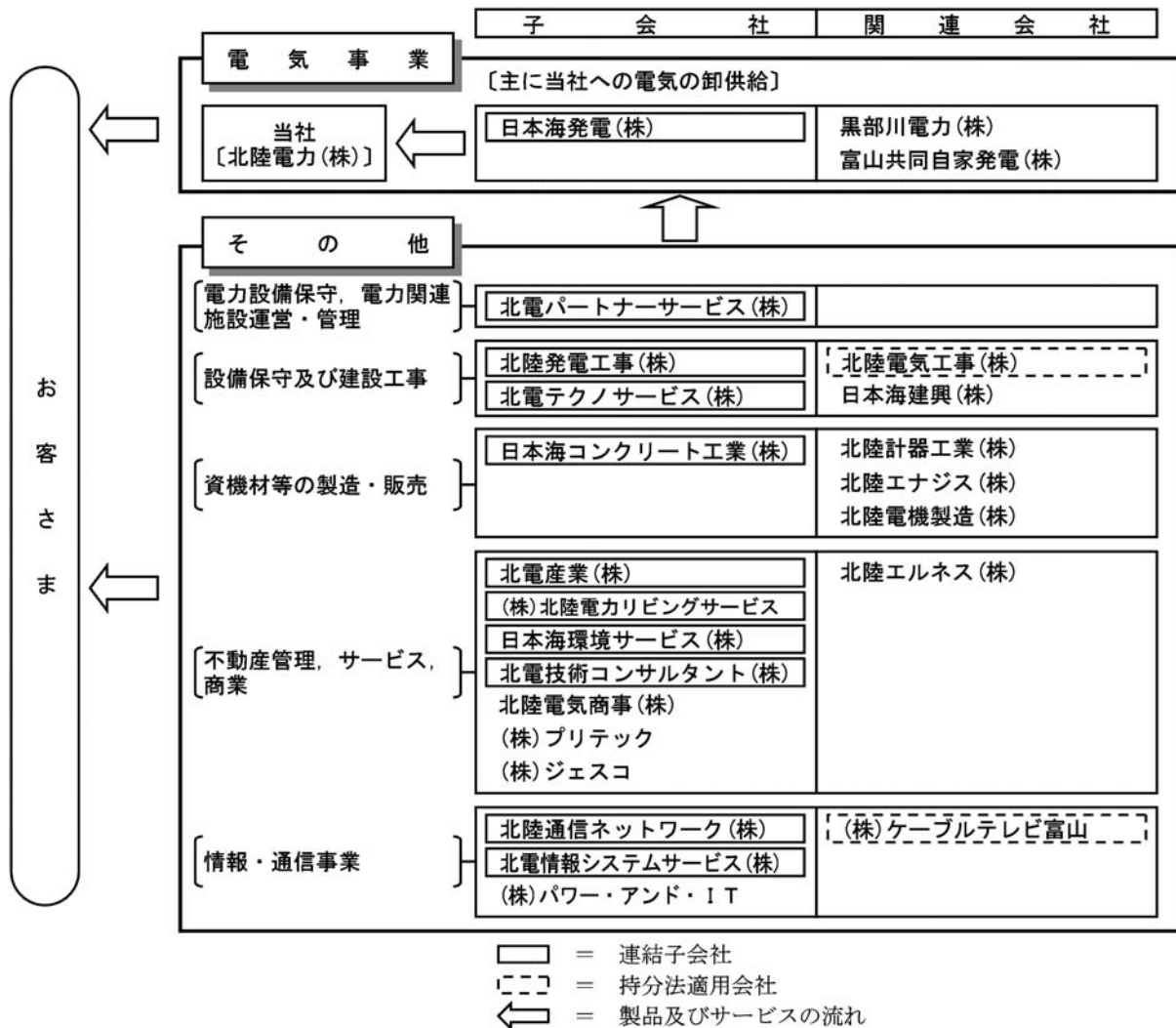
当社はその中心として、北陸三県〔富山県、石川県、福井県（一部を除く）〕と岐阜県の一部に電気を供給することを主たる事業としている。

当社の関係会社には、発電を行い主に当社へ卸供給している会社をはじめ、主に電力の供給に必要な設備の建設・補修や資機材の製造を行っている会社、当社の事業運営に付随するサービス業務に携わっている会社、更に、当社が保有する技術等を活用して情報通信事業を営んでいる会社がある。

当第1四半期連結累計期間において、主な事業内容の変更及び主要な関係会社の異動はない。

当第1四半期連結会計期間末における各事業の主な内容と関係会社及びその相互関係は下図のとおりである。

○ 事業系統図



第2【事業の状況】

(注) 金額には、消費税等は含まれていない。

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性のある主なリスクについて重要な変更はない。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、生産や雇用情勢に改善傾向がみられるなど、持ち直している。北陸地域においても同様の状況で推移した。

このような経済情勢のもと、当第1四半期連結累計期間の収支については、収益面では、電気事業において卸電力取引所での取引や他の電力会社への販売電力収入の減少などから、売上高（営業収益）は1,153億円（前年同四半期比98.9%）となり、これに営業外収益を加えた経常収益は1,163億円（同99.0%）となった。

一方、費用面では、経費全般にわたり効率化に努めたが、電気事業において石炭火力発電所の定期点検台数が前年に比べ多かったことにより、石油火力の発電量が増加し、燃料費が増加したことなどから、経常費用は1,148億円（同111.5%）となった。

この結果、経常利益は14億円（同10.1%）となり、四半期純利益は4億円（同5.5%）となった。

セグメントの業績（セグメント間の内部取引消去前）は、次のとおりである。

① 電気事業

当第1四半期連結累計期間の販売電力量は、電灯は、検針期間が前年に比べ短かったことなどから、前年同四半期を下回った。業務用は、冷房需要増などから前年同四半期を上回り、産業用その他は、大口電力が低調に推移したことなどから、前年同四半期を下回った。

この結果、販売電力量は64億75百万キロワット時（うち特定規模需要43億30百万キロワット時）となり、前年同四半期と比較すると0.5%の減少となった。

供給力については、出水率が94.9%と平年を下回り、志賀原子力発電所1・2号機は停止中であつたが、供給設備全般にわたる効率的運用に努めた結果、期を通じて安定した供給を維持することができた。

収支については、売上高は、卸電力取引所での取引や他の電力会社への販売電力収入の減少などから、1,118億円（前年同四半期比99.0%）となった。

一方、営業費用は、経費全般にわたり効率化に努めたが、石炭火力発電所の定期点検台数が前年に比べ多かったことにより、石油火力の発電量が増加し、燃料費が増加したことなどから、1,084億円（同111.9%）となった。

この結果、営業利益は34億円（同21.7%）となった。

② その他

売上高は、請負工事等の受注の減少などから101億円（前年同四半期比97.3%）、営業費用は97億円（同99.6%）となった。

この結果、営業利益は4億円（同66.1%）となった。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はない。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、575百万円である。

また、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の内容は、次のとおりである。

(電気事業)

- 電力の安定供給、低炭素社会の実現及び環境保全に資する研究
 - ・再生可能エネルギー大量導入による系統影響の経済的な緩和対策
 - ・信頼性と経済性の両立のための送電線雷事故解析手法の精度向上
 - ・リチウムイオン電池の効率的な使用方法
 - ・電源構成の変化を踏まえた系統解析手法の精度向上
 - ・電力設備の診断・寿命延伸・性能評価技術の開発
 - ・省エネルギー機器の性能評価
 - ・フライアッシュの有効利用

(4) 生産、受注及び販売の実績

当社グループ（当社及び連結子会社）においては、電気事業が事業の大半を占めており、また、電気事業以外の事業は、広範囲かつ多種多様であり、生産、受注、販売といった画一的な区分による表示が困難である。

このため、電気事業の生産、受注及び販売の実績のみを記載している。

① 需給実績

種別		当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで)	前年同四半期比 (%)
発 受 電 電 力 量	自社		
	水力発電電力量 (百万kWh)	2,050	97.0
	火力発電電力量 (百万kWh)	4,253	95.5
	原子力発電電力量 (百万kWh)	—	—
	新エネルギー等発電電力量 (百万kWh)	2	152.3
	他社受電電力量 (百万kWh)	836 △87	103.9 62.9
	融通電力量 (百万kWh)	117 △207	242.4 61.3
	揚水発電所の揚水用電力量 (百万kWh)	△2	82.5
合計 (百万kWh)		6,961	100.3
損失電力量等 (百万kWh)		△486	112.6
販売電力量 (百万kWh)		6,475	99.5
出水率 (%)		94.7	—

(注) 1. 他社受電電力量のうち、連結子会社からの受電電力量は49百万kWhであり、これを含めた出水率は94.9%である。

2. 他社受電電力量及び融通電力量の上段は受電電力量、下段は送電電力量を示している。

3. 揚水発電所の揚水用電力量とは、貯水池運営のための揚水用に使用する電力量である。

4. 販売電力量の中には、営業収益には計上されない自社事業用電力量 (8百万kWh) を含んでいる。

5. 出水率は、昭和57年度から平成23年度までの第1四半期の30か年平均に対する比である。

6. 四捨五入のため合計が一致しない場合がある。

② 販売実績

a. 契約高

種別		当第1四半期連結会計期間末 (平成25年6月30日)	前年同四半期比 (%)
契約口数	電灯	1,868,273	100.7
	電力	226,715	97.4
	計	2,094,988	100.4
契約電力 (kW)	電灯	7,517,409	101.9
	電力	1,606,857	97.6
	計	9,124,266	101.1

(注) 本表には特定規模需要、他社販売及び電力会社融通(送電分)を含まない。

b. 販売電力量及び料金収入

イ. 販売電力量

種別		当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで)	前年同四半期比 (%)
特定規模需要以外	電灯 (百万kWh)	1,870	99.3
	電力 (百万kWh)	275	96.3
	電灯電力計 (百万kWh)	2,145	98.9
特定規模需要	業務用 (百万kWh)	1,151	102.4
	産業用その他 (百万kWh)	3,179	98.8
	特定規模需要計 (百万kWh)	4,330	99.7
電灯電力・特定規模需要合計 (百万kWh)		6,475	99.5
他社販売 (百万kWh)		87	62.9
融通 (百万kWh)		207	61.3
(再掲) 大口電力 (百万kWh)		2,565	98.5

ロ. 料金収入

種別	当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで)	前年同四半期比 (%)
電灯 (百万円)	35,405	100.2
電力 (百万円)	63,523	101.4
電灯電力合計 (百万円)	98,928	101.0
他社販売 (百万円)	1,447	65.5
融通 (百万円)	7,911	67.7

(注) 電力には、特定規模需要を含む。

c. 産業別（大口電力）販売電力量

種別		当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで)	前年同四半期比 (%)	
鋁工業	鋁業 (百万kWh)	—	—	
	製造業	食料品 (百万kWh)	51	99.2
		繊維工業 (百万kWh)	256	100.6
		パルプ・紙・紙加工品 (百万kWh)	75	97.0
		化学工業 (百万kWh)	317	101.9
		窯業・土石 (百万kWh)	101	110.2
		鉄鋼業 (百万kWh)	198	93.6
		非鉄金属 (百万kWh)	220	96.9
		機械器具製造業 (百万kWh)	775	96.6
		その他 (百万kWh)	375	99.4
		計 (百万kWh)	2,368	98.5
計 (百万kWh)	2,368	98.5		
その他	鉄道業 (百万kWh)	53	101.6	
	その他 (百万kWh)	144	96.7	
	計 (百万kWh)	197	97.9	
合計 (百万kWh)		2,565	98.5	

(5) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備に関し、新設、除却等による著しい変動はない。
また、前連結会計年度末において計画中であった新設、除却等について著しい変更はない。

なお、下記3箇所の水力発電所は、設備改修や最大取水量増加により出力増加となった。

(電気事業)

電源

発電所名	変更前の出力(kW)	変更後の出力(kW)	運用開始
東町発電所	31,300	32,200	平成25年4月
新猪谷発電所	33,500	35,400	平成25年5月
神通川第二発電所	41,000	44,000	平成25年5月

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	210,333,694	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 100株である。
計	210,333,694	同左	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はない。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はない。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はない。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	210,334	—	117,641	—	33,993

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしている。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 1,499,000	—	「1(1)②発行済株式」の 「内容」欄に記載のとおりである。
	(相互保有株式) 普通株式 18,300	—	同上
完全議決権株式（その他）	普通株式 207,379,300	2,073,793	同上
単元未満株式	普通株式 1,437,094	—	—
発行済株式総数	210,333,694	—	—
総株主の議決権	—	2,073,793	—

(注) 「完全議決権株式（その他）」欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2,100株含まれている。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数21個が含まれている。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(自己保有株式) 北陸電力株式会社	富山市牛島町15番1号	1,499,000	—	1,499,000	0.71
(相互保有株式) 黒部川電力株式会社	東京都港区虎ノ門二丁目8番1号	10,000	—	10,000	0.00
日本海建興株式会社	富山市牛島町24番6号	6,200	—	6,200	0.00
北陸エナジス株式会社	石川県羽咋郡志賀町若葉台11番地1	2,100	—	2,100	0.00
計	—	1,517,300	—	1,517,300	0.72

(注) このほか、株主名簿上は当社名義になっているが、実質的に所有していない株式が200株（議決権の数2個）ある。

なお、当該株式数は①「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」の中にも含めている。

2 【役員の状況】

該当事項はない。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠し、「電気事業会計規則」（昭和40年通商産業省令第57号）に準じて作成している。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
固定資産	1,183,664	1,178,929
電気事業固定資産	894,722	884,591
水力発電設備	113,884	112,297
汽力発電設備	111,482	111,357
原子力発電設備	216,671	211,773
送電設備	172,571	171,088
変電設備	89,325	88,321
配電設備	151,783	151,166
業務設備	31,307	31,070
その他の電気事業固定資産	7,695	7,516
その他の固定資産	29,075	28,485
固定資産仮勘定	34,774	36,812
建設仮勘定及び除却仮勘定	34,774	36,812
核燃料	96,994	99,488
装荷核燃料	26,219	26,219
加工中等核燃料	70,775	73,268
投資その他の資産	128,098	129,550
長期投資	61,620	62,079
使用済燃料再処理等積立金	17,231	16,032
繰延税金資産	37,221	39,524
その他	12,087	11,986
貸倒引当金（貸方）	△61	△72
流動資産	212,311	239,300
現金及び預金	116,340	139,306
受取手形及び売掛金	37,974	39,913
たな卸資産	28,636	31,611
繰延税金資産	8,574	6,097
その他	20,950	22,531
貸倒引当金（貸方）	△163	△160
合計	1,395,976	1,418,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債及び純資産の部		
固定負債	863,234	906,808
社債	438,627	478,630
長期借入金	288,856	294,930
退職給付引当金	27,816	25,986
使用済燃料再処理等引当金	17,989	16,898
使用済燃料再処理等準備引当金	5,429	5,483
資産除去債務	67,654	68,043
その他	16,861	16,835
流動負債	191,795	174,699
1年以内に期限到来の固定負債	87,423	86,997
短期借入金	15,821	16,621
支払手形及び買掛金	24,908	20,038
未払税金	8,183	5,980
その他	55,458	45,060
特別法上の引当金	9,896	10,245
濁水準備引当金	9,896	10,245
負債合計	1,064,927	1,091,753
株主資本	325,031	320,301
資本金	117,641	117,641
資本剰余金	33,993	33,993
利益剰余金	176,681	171,952
自己株式	△3,284	△3,286
その他の包括利益累計額	6,017	6,174
その他有価証券評価差額金	6,017	6,354
繰延ヘッジ損益	—	△180
純資産合計	331,049	326,475
合計	1,395,976	1,418,229

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで)
営業収益	116,711	115,374
電気事業営業収益	112,851	111,744
その他事業営業収益	3,860	3,629
営業費用	99,917	111,383
電気事業営業費用	96,752	108,314
その他事業営業費用	3,164	3,069
営業利益	16,794	3,991
営業外収益	759	934
受取配当金	224	227
受取利息	121	106
持分法による投資利益	64	132
その他	348	466
営業外費用	3,082	3,467
支払利息	3,008	3,148
その他	74	318
四半期経常収益合計	117,471	116,308
四半期経常費用合計	103,000	114,850
経常利益	14,471	1,458
減価償却引当又は取崩し	824	348
減価償却引当	824	348
税金等調整前四半期純利益	13,646	1,109
法人税、住民税及び事業税	842	424
法人税等調整額	3,915	191
法人税等合計	4,757	616
少数株主損益調整前四半期純利益	8,888	492
四半期純利益	8,888	492

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年6月30日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,888	492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△800	326
繰延ヘッジ損益	—	△180
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	10
その他の包括利益合計	△814	156
四半期包括利益	8,074	649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,074	649

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月30日

北 陸 電 力 株 式 会 社
取 締 役 会 御 中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 白 羽 龍 三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 川 正 房 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 田 康 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北陸電力株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北陸電力株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途管理しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。